

活動報告

団 体 名	災害 NGO 結
活 動 名	台風 15 号による被害の調査と現地支援の調整事業
活動期間	2019/09/17～2019/10/11
活動の成果	千葉の台風被害で特徴的だったのは、広範囲に台風の影響が生まれたこと、電気・水道などのインフラが広域で機能不全に陥ったため、被害状況の整理ができていないことでした。そのため災害発生から少し時間が経ってからの現地入りでしたが、改めて被害が出たと思われる地域を走り、被害状況の洗い出しと情報の整理をしました。特に被害が集中した千葉県南部の、鴨川市・鋸南市・館山市・南房総市・富津市、君津市・木更津市などに注意して情報収集しました。被害状況と共に、災害 VC の様子も見ていると、多く場所で屋根上のニーズに対応していることが分かりました。高所作業の経験が無い方や装備が整っていない方などが、屋根など高所作業の活動に関わり事故が起きる可能性が高くなる事を想定して注記換気しました。高所作業の経験の無い一般の参加者が、安全対策もなく屋根などの高所作業を担うのは危険すぎます。そこで各地の災害 VC には、一般の参加者ではなく安全対策が出来るような人のみの対応にするなど、災害 VC で重大事故が出ないように助言しました。一番の成果は、被害が大きかった千葉県南部で、総合的に支援活動をサポートする千葉南部災害支援センターが立ち上がったことです。このセンターを中心に、各地で対応できないニーズを収集し、頼り先のない被災者や社会福祉協議会のための窓口となることができました。同時に高所作業時の安全面講習会を実施し、長期的な支援に欠かせない地元支援者を育成しています。このセンターなどの動きにより今も地道な支援活動が続けられ、被災者に寄り添っていくことが、一番の成果だと感じています
寄付者へのメッセージ	今回の活動は特に、被災者の方への対応を直接的にするのではなく、現地の情報を収集し、まとめ、今後必要な支援を組み立て、現地の支援者をサポートするという中間支援の動きでした。こういった活動はどんな動きをしているのか見えにくく、また情報発信も難しいという大きな課題があります。一度ブルーシートを張っても、本修理を待つまでに張替えが必要になるケースもあり、結局の解決には繋がりません。何度も張り替えることで危険性も高まります。官民がもっと連携して、根本的な解決が進むように、まだまだ色々な働きかけや仕組みづくりが必要です。継続的な、千葉への支援と同時に、こうした中間支援の動きについても注目してもらえると嬉しいです。ご支援本当にありがとうございました。

(活動のようす)

